

磯飛 節子展

Setsuko Isohi exhibition

会期：2018年6月1日（金）－6月29日（金）
9:00－17:00

会場：板室温泉大黒屋サロン 入場無料

アーティストトーク：18日（月）20:00－21:00

作家在廊予定日：毎週土曜日・日曜日
展示は宿泊以外の方もご覧いただけます。



巻編盛籃「花笈」(2017)

板室温泉大黒屋では、2018年6月1日（金）より6月29日（金）まで、竹作家 磯飛節子の個展を開催いたします。磯飛節子は、日本有数の竹工芸の町である栃木県大田原市に住まい、日本伝統工芸展で日本工芸会総裁賞を受賞するなど注目を集める女流作家です。近年は、シカゴのSOFAアートフェアでの個展や、ニューヨークのメトロポリタン美術館での展示など活躍の場を国際的に広げています。

磯飛の作品は、細く薄く成形して濃淡を付け染め分けた竹ひごを、伝統的な編み方と独自の技法を組み合わせることで奥行きを感じさせる作品を制作。繊細で妥協のない作品は爽やかさの中に凛とした彼女特有の美意識を感じます。本展では、2017年に日本伝統工芸展に出品された巻編盛籃「花笈」、東日本伝統工芸展で日本工芸会東日本支部長賞を受賞した千筋捻花籃「光立つ」などの大作をはじめ、花籃、盛籃、うつわなど普段使いの作品、およそ50点を展示いたします。多彩な作品を御覧いただける貴重な機会、是非ご高覧ください。

竹工芸の道に入り22年が経ちました。

竹は強靱でしなやかな植物です。

素材である竹と対峙し声を聞きながら、竹ならではの直線、曲線、その集合によって造られた空間を意識して日々制作しています。

工芸の魅力は見て楽しみ、使っても楽しめるところだと思います。

今回は暮らしの中でも楽しめる作品を準備いたしました。

磯飛 節子

磯飛節子 Setsuko Isohi

- 1964年 栃木県大田原市に生まれる
- 1997年 八木澤正主宰の竹工教室に学ぶ
- 2002年～ 伝統工芸新作展(08年より東日本伝統工芸展) 入選
03年 東日本支部賞、07年 山種美術館賞、14年 鑑査委員
15年 日本工芸会東日本支部長賞
- 2003年～ 日本伝統工芸展 入選、10年 日本工芸会総裁賞
- 2005年～ 伝統工芸木竹展 入選、07年 朝日新聞社賞、09年 木竹参与賞
- 2006年 重要無形文化財「竹工芸」伝承者養成研修会で五世早川尚古齋に竹工芸を学ぶ(～07年)
- 2007年 「次世代の祝典」サンフランシスコ・アジア美術館 / アメリカ
日本工芸会正会員
- 2009年 栃木県文化奨励賞
- 2010年 「異なる感性ー竹工芸の女性たち」タイ・ギャラリー / サンタフェ、アメリカ
- 2012年 「茶の湯の現代ー用と形ー」菊池寛実記念 智美術館 / 東京 奨励賞
- 2013年 「工芸から KOUGEI へ」東京国立近代美術館 / 東京
- 2014年 「竹のめざめー栃木竹工芸の精華」栃木県立美術館 / 栃木
- 2015年 「伝統工芸の現在性」MOA 美術館 / 静岡
- 2016年 「今日の竹工芸」ヴィクトリア国立美術館 / メルボルン、オーストラリア
「SOFA sculpture objects functional art design CHICAGO」Thai Modern シカゴ / アメリカ
出品および講演と実演
- 2017年 「日本の竹工芸ーアビー・コレクション」メトロポリタン美術館 / アメリカ
「日本竹工芸の名作」マービスギャラリー / アメリカ
「HOPESー次世代 100 選ー」日本橋三越 / 東京
重要無形文化財「竹工芸」伝承者養成研修会で勝城蒼鳳に学ぶ
- 個展 ギャラリー藍青 / 大田原、花筥 / 日本橋、ギャラリー芙蓉 / 宇都宮
ぎやらりい ぜん / 栃木、日本橋三越、板室温泉大黒屋 / 栃木

パブリックコレクション 那須野が原博物館、ヴィクトリア国立美術館

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。